

研究概要

1. 研究名称 または課題名テーマ等

横隔膜同期併用3DMRCPにおけるAuto Trackerの精度についての検討

2. 研究責任者(当院)

所属: 放射線科
氏名: 片岡義貴

共同研究の場合は代表機関 及び 代表者名

機関名: 該当なし
代表名: 該当なし

3. 分担研究者

所属: 放射線科
氏名: 池田良弘

4. 研究対象者

2021年 8月 1日 ~ 2021年 11月 1日の間に、聖隷佐倉市民病院において放射線科10名で、本実験の内容を説明し、且つ同意書に署名された方。

5. 研究の必要性

3次元MRCP(MR Cholangio Pancreatography)は、非侵襲的に胆嚢や胆管、膵管を描出する検査である。この検査は呼吸による動きの影響を受けやすく、この呼吸の動きに合わせて撮影を行う必要があり、いかに精度良く合わせられるかが重要である。当院のMRI装置では横隔膜の動きに合わせて撮影を行う横隔膜同期法を使用することができる。この横隔膜同期法は呼吸以外でも動いてしまうお腹の動きに合わせて撮影を行うよりも、呼吸でしか動かない横隔膜の動きに合わせて高い精度で同期を行うことができる。しかしながら設定が上手に行かない場合では同期の精度が落ちてしまい良好な画像を得ることができなくなってしまう。そこで本研究の目的として、設定時の呼吸の仕方によって同期の精度がどれほど変わり、画質へどれほど影響を及ぼすのかを検討することとする。検討を行うことで最小限の検査時間で明瞭な画像を提供することが可能となる。したがって、本研究を行うことが必要である。

6. 研究等によって生ずる個人への影響と医学上の貢献の予測

本研究に造影剤を使用することはない。また、本研究に必要なMRI検査(3次元MRCP法)は、非侵襲的検査であり、日常臨床における安全性は確保されている。調査対象の方にリスク・不利益、経済的負担が発生することはない。横隔膜同期を上手に設定すること呼吸不安定な方でもより良好な画像を得ることが可能となる。また、検査時間も短くなるため、患者の負担軽減にもつながると考える。

7. 対象者、関係者等からの問合せ先(当院)

連絡先番号: 043-486-1151
担当者氏名: 放射線科 片岡 義貴
対応時間: 平日8:30-17:00

共同研究において専用窓口がある場合

該当なし

※ご注意

対象者とは、本研究に参加された方です。
お問合せは、本研究に参加された方と
研究関係者のみで、その他の方へのご対応
はできませんので、予めご了承願います。